

(第23号) *** 参考文献欄の読み方について***

図書や雑誌の論文の最後に、執筆した論文の中で引用した文献をまとめている参考文献欄 (References) が掲載されています。その読み方について取り上げます。

はじめに、雑誌論文について解説します。

例 1) Russo MW, et al : A national survey of practice patterns of gastroenterologists with comparison to the past two decades. J Clin Gastroenterol 29: 339 - 343, 1999.

著者、論題、雑誌名、巻(号)、ページ、出版年の順に記されていますが、著者 Russo MW et al とあり、Russo MW の他に共著者がいることが判ります。共著者の掲載人数や雑誌名の省略方法、項目の記載順序等は投稿する雑誌の「投稿規程(Instruction for Authors)」により決められています。洋雑誌の省略では主に『List of Journals Indexed for MEDLINE』や『List of serial title word abbreviations』などを参考とします。和雑誌は原則として略しませんが、最近は『医学中央雑誌収載誌目録』などに依り省略する場合も多くなりました。詳細については各雑誌の投稿規程で確認してください。(参考 URL = <http://www.lib.iwate-med.ac.jp/link.html#T>)

続いて、単行本についてです。

例 2) Drossman DA : Functional Gastrointestinal Disorders, p1-174, Little Brown, Boston, 1994

編著者、書名、版表示、出版社、ページ、出版地、出版年の順に記されています。記載されているページはページ数の多さから Chapter(章)すべてのページが対象と推測できます。また、和書には「奥付」、洋書には「Title page」にその本の情報をまとめて記載している箇所がありますので、文献と一緒に記録しておくとう便利です。

論文を執筆する際、誤った記載は、引用文献からさらに文献を探したい人に迷惑がかかるので、正確に！

*** 図書館トリビア ***

「”ibid”っていう雑誌ありますか？」10 数年前まではたまに聞かれた質問です。ibid は“直前と同誌”の意の略語で、文献欄によく使用されていました。他にも in press(印刷中)、under preparation(投稿予定)など様々な特殊用語がありますが、電子化と共に使用頻度が減り、代わりに Online 文献が増えてきています。Web 上からの情報には、書誌事項、URL とともに以下のようなアクセス年月日の表示が大切です。

(例)参考文献欄の読み方について. 岩手医科大学附属図書館メールマガジン 23 [internet]. <http://www.lib.iwate-med.ac.jp/mm/mm23.pdf> [accessed 2006-10-11]

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。